

参院選と今年後半の政治を読む

ノンフィクション作家、評論家

塩田

た

うしお

- *「亥年の凶」の参院選へ
- *残された五つの目標
- *同日選見送りの背景
- *参院選後に野党結集も
- *ねじれ実現の可能性
- *改憲は限りなく困難
- *安倍政権は賞味期限切れ
- *ポスト安倍に菅氏浮上
- *振り子の原理は働くか
- *実は藪蛇の出現が怖い



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日はご紹介の必要ありませんが、おなじみの塩田潮さんにおいでいただきました。

どうやら同日選挙の風もやんできたようですし、消費増税は着々と今準備が進んでおりますので、このまま参議院単独選挙となりそうです。安倍内閣の支持率も高率を保っておりますが、でもこういうときこそ一寸先は闇というのが政治の世界でございますので、今日はそういうことも含めてこれからの政治の動向について塩田さんに解説いただきたいと思えます。塩田さん、よろしくお願ひいたします。（拍手）

「亥年の凶」の参院選へ

塩田 前回ここの会場にお招きいただきまし

たのは2018年6月22日で、ちょうど365日経っております。前回は「一寸先は闇の安倍政権」というタイトルで、9月に総裁選が控えておりましたから、総裁三選あるかないかというお話をさせていただきました。それから丸一年が過ぎまして、参議院選挙を控えているというこの時期であります。

通常国会は6月26日までなので、あと5日となりました。ここまでの報道を見ると、国会の延長はやらない。閉会の2日後に大阪でG20が控えているし、参議院選挙のある年というのは、国会の延長は通常ないと言われていますので、異例というわけではありません。けれども、やっぱり安倍さんは、どちらかというと国会答弁をなるべく避けたい。早く国会を終わらせて、